

※ 県議会からいただいたご意見への対応・回答について（案）

区分	頁	いただいたご意見	対応・回答案
(全般)		<p>大綱の在り方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大綱の記載内容を教育の大枠に限定すべきではないか。 (本会議 代表質問) ・大綱は、大きな方向性を示すものと説明があったが、内容が細かい。教育全体の方向性を細かく規定することになってしまうのではないか。(教育警察常任委員会) 	<p>→ 教育・人づくりは、知事の２期目における最も重要な政策分野として位置づけられていることから、「三重県教育施策大綱」（仮称）の基本方針には、知事の教育・人づくりに対する考え方をしっかりと盛り込みました。</p> <p>また、ライフステージに沿った教育施策の体系と主な取組内容を記載し、県民の皆様にも、教育委員会所管の取組だけでなく、産業人材の育成といった知事部局所管の取組を含めた教育・人づくり政策の内容を、幅広い視点から簡潔に説明するかたちで取りまとめました。</p> <p>教育・人づくりを最も重要な政策として打ち出した以上、その取組方針や内容をきちんと県民の皆様にお示しすることが知事としての責務と考えられますので、ご理解をよろしく願います。</p>

区分	頁	いただいたご意見	対応・回答案
(全般)		<p>教育の個人的意義について</p> <p>・教育の本旨は個人的意義だと思うが、大綱や行動計画には、社会的意義の記述が多い。個人的意義を加筆願いたい。(教育警察常任委員会)</p>	<p>→ ご意見を踏まえ、P5「(1)『生き抜いていく力』の育成」の説明を、個人的意義の視点から一貫して記述するため、以下のとおり修正します。</p> <p>(修正前)</p> <p>○ 将来予測が困難(中略)切り拓く人材、即ち「<u>生き抜いていく力</u>」を備えた人材が求められています。</p> <p>(修正後)</p> <p>○ 将来予測が困難(中略)切り拓く力、即ち「<u>生き抜いていく力</u>」が求められます。</p> <p>※「人材」を基調とした表現から、「力」を基調とした表現に修正。</p> <p>→ また、一人ひとりの子どもたちの人生を大切にする視点から、以下の記述を追加します。</p> <p>○ <u>一方、厳しい生活環境の中で明日への夢や希望を抱くことが簡単にはできない、あるいは、まだ自信や意欲を持たず人間関係がうまく築けないなど、逆境や葛藤の中で懸命に生きている子どもたちがいることを踏まえ、一人ひとりが自らをかけがえのない存在として感じられるよう、自己肯定感の涵養を図ります。加えて、学ぶ意欲の向上、豊かな人間関係を形成する力の育成等を通じ、誰もが自分の可能性を信じ、人生を大切に歩んでいけるよう支援します。</u></p> <p>→ なお、本案では、個人的意義を明確に位置づけているほか、「一人ひとりの可能性を最大限に引き出す」など、個人的意義の視点からの記述も随所に折り込んでいることを申し添えます。</p>

区分	頁	いただいたご意見	対応・回答案
3 三重の教育における基本方針	4	<p>基本方針について</p> <p>・11の施策体系は分かりやすい。一方、6つの基本方針のタイトルは内容が分かりにくい。 (戦略企画雇用経済常任委員会)</p>	<p>→ 6つの基本方針のタイトルは、県民の皆様に関心を持っていただけるよう、訴求力のある言葉を意図的に選択しました。</p> <p>内容を把握いただきやすいよう、タイトルには2行の説明文を付して提示していますので、ご理解をよろしくお願ひします。</p>

区分	頁	いただいたご意見	対応・回答案
3 三重の教育における基本方針 (1) 「生き抜いていく力」の育成	5	<p>「生き抜いていく力」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生き抜いていく力」という言葉は、「独力で生きていく」という印象が強い。これからの子どもたちには、「共に支えあって生きていく」という考え方が重要であり、その意味を盛り込む必要があるのではないか。(本会議 関連質問) ・「生き抜いていく力」という言葉は、survive、ハードな環境をタフに生き抜くという意味を持ち、違和感がある。中身は充実しているが、タイトルとマッチしない。意味が伝わるよう例えば、「生きていく力」などに修正してほしい。 (戦略企画雇用経済常任委員会) ・「生き抜いていく力」を、例えば「生き抜いていく自立・共生の力の育成」としてはどうか。 (戦略企画雇用経済常任委員会) ・「生き抜いていく力」は、競争社会で生き抜いていくということであり、今の子どもたちはしんどいと思う。(教育警察常任委員会) ・「生き抜いていく力」は、「自立」の力にシフトし、「共生」の力の記述が弱い。新しい豊かさや地方創生には、「共生」の力が必要である。 (教育警察常任委員会) 	<p>→ 言葉のとらえ方は人それぞれで異なりますので、「生き抜いていく力」が「自立」の力と「共生」の力で構成されること、「共生」の力には他者と支えあう力などが含まれること等を記述の中で丁寧に説明しています。</p> <p>また、この言葉には、日々の暮らしの厳しい環境の中で、明日への夢や希望を抱くことが簡単にできない状況の子どもたちにも、決して人生をあきらめることなく、自らの可能性を信じ、命を大切にして生き抜いてほしいという思いもこめられています。</p> <p>→ こうしたことから、『「生き抜いていく力」の育成』にかかる記述を、以下のとおり修正・追加します。</p> <p>(修正前)</p> <p>○ 将来予測が困難とされる来るべき時代においては、変化の風に凜として向き合い、<u>確固たる自分の軸を持って、未来への活路を切り拓く人材、即ち「生き抜いていく力」を備えた人材が求められています。</u></p> <p>(修正後)</p> <p>○ 将来予測が困難とされる来るべき時代においては、変化の風に凜として向き合い、<u>確固たる自分の軸を持ち、他者との絆を大切にしながら、豊かな未来を切り拓く力、即ち「生き抜いていく力」が求められます。</u></p>

			<p>(追加)</p> <p>○ <u>一方、厳しい生活環境の中で明日への夢や希望を抱くことが簡単にはできない、あるいは、まだ自信や意欲を持たず人間関係がうまく築けないなど、逆境や葛藤の中で懸命に生きている子どもたちがいることを踏まえ、一人ひとりが自らをかけがえのない存在として感じられるよう、自己肯定感の涵養を図ります。加えて、学ぶ意欲の向上、豊かな人間関係を形成する力の育成等を通じ、誰もが自分の可能性を信じ、人生を大切に歩んでいけるよう支援します。</u></p> <p>※「他者との絆を大切にしながら」「豊かな人間関係を形成する力の育成」など、「共生」の力の記述を充実。</p>
--	--	--	---

区分	頁	いただいたご意見	対応・回答案
3 三重の教育における基本方針 (1)「生き抜いていく力」の育成	5	「生き抜いていく力」について ・「生き抜いていく力の育成」で、「課題となっている学力・体力の向上に向け、優先度を高くして取り組む」とあるが、あとは二の次でよいと読める。ここまで明確に書き込む必要はないかと思う。 (教育警察常任委員会)	→ ご指摘の点については、数ある施策の中で特に優先度を高くする重点事項について言及した部分であり、懸念いただいている趣旨を含むものではないことをご理解ください。
3 三重の教育における基本方針 (2)「教育安心県」の実現	5	子どもの貧困について ・貧困など子どもの教育をめぐる厳しい状況について議論があったなら、加筆いただきたい。 (教育警察常任委員会)	→ 貧困問題については、「2教育を取り巻く社会情勢の変化」の中で項目を起こし記述している(P2)ほか、基本方針「『教育安心県』の実現」の中に確たる方針を明示しています(P5)。 → また、施策「笑顔あふれる安全で安心な教育環境づくり」において、以下のとおり、子どもの貧困対策に関する記述を充実しました。(P22) (修正前) <u>11 子どもたちの将来が生まれ育った家庭の経済的な環境等によって左右されることのないよう、奨学金制度の充実や学習支援など必要な支援を行います。</u> (修正後) <u>13 「三重県子どもの貧困対策計画(仮称)」に基づき、市町や関係機関と連携し、就学の援助、学資の援助、学習の支援等、貧困の状況にある子どもの教育に関する支援を行います。</u> <u>14 学校を子どもの貧困対策のプラットフォームとして位置づけ、学校を窓口として関係機関等との連携を図ることで、貧困の状況にある子どもを生活支援や福祉制度につなげます。</u>

区分	頁	いただいたご意見	対応・回答案
3 三重の教育における基本方針 (3) 「生涯現役・全員参加型社会」に向けた学習基盤の充実	6	<p>「生涯現役・全員参加型社会」について</p> <p>・「生涯現役・全員参加型社会」は、生涯学習を含む基本方針であることが伝わるような記述に修正してはどうか。</p> <p>(戦略企画雇用経済常任委員会)</p>	<p>→ 「生涯現役・全員参加型社会」は新しい用語ではなく、国の「教育振興基本計画」において、生涯学習を含む概念として平成 25 年に示されたものです。</p> <p>説明文の中に「生涯を通じた学習基盤の充実」という記述もあり、原案どおりとさせていただくことについて、ご理解をお願いします。</p> <p>→ なお、このご指摘とは別に、本大綱案の中では、「社会参加」より「社会参画」という言葉を基本的に用いていることを踏まえ、「全員参加」を「全員参画」と改めることとします。</p> <p>(修正前) 「生涯現役・<u>全員参加</u>型社会」</p> <p>(修正後) 「生涯現役・<u>全員参画</u>型社会」</p>

区分	頁	いただいたご意見	対応・回答案
3 三重の教育における基本方針 (4)教育への県民力の結集	6	「時を越えた協創」について ・「時を越えた協創」は、大綱に使用する用語としては違和感がある。 (戦略企画雇用経済常任委員会)	→ ご意見を踏まえ、以下のとおり、キーワードを修正します。 (修正前) 「時を越えた協創」 (修正後) 「時をつなぐ協創」 ※「協創」は、多様な主体の協働による新しい価値の創出を意味する用語ですが、教育活動の場合、その「協創」による横軸の広がり、時間を越えて縦軸でつながってこそ成果が生まれることから、「時を越えた協創」というキーワードをお示してきたところです。 議会からのご指摘をふまえ、用語について再検討したところ、「越える」より「つなぐ」という表現の方が、この趣旨をよりイメージいただきやすいと考えられることから、キーワードを修正することとしました。

区分	頁	いただいたご意見	対応・回答案
4 教育施策 (1)「教育の原点」である家庭教育の充実と子育て支援	10	家庭教育の充実について ・学力、体力の向上は重要だが、そのベースとして家庭の中での育ち方は非常に大切である。家庭教育についてこれまで県の取組は弱かったため、充実願いたい。 (戦略企画雇用経済常任委員会)	→ ご指摘のとおりと認識しており、以下のとおり対応しています。 ①基本方針『「生き抜いていく力」の育成』に、家庭教育の充実に向けた取組を拡充することを明記。(P5) ②施策『「教育の原点」である家庭教育の充実と子育て支援』に、「家庭教育の応援戦略及び啓発手法の確立」、「家庭における親の学びの場づくり」など、家庭への働きかけ・啓発を進める複数の新規取組を位置づけ (P10～11)
4 教育施策 (8)地域に開かれ信頼される学校づくり	23	小規模校の取組について ・次期の高等学校活性化計画に小規模校のこれまでの取組を反映できるよう、大綱や教育ビジョンにも、それがにじみ出るような記述をしてほしい。(教育警察常任委員会)	→ 小規模校の活性化については、個別具体的な状況をふまえて検討が必要な事項であると考えています。
4 教育施策 (8)地域に開かれ信頼される学校づくり	23	学校の地域貢献について ・地域貢献については、「(9)地域と若者の未来を拓く高等教育機関の充実」だけでなく、「(8)地域に開かれ信頼される学校づくり」でも記載してほしい。(教育警察常任委員会)	→ 学校の地域貢献については、「(4)人との絆や自然との関わりの中で伸びゆく豊かな心の育成」の「高校生が地域を学び、地域への愛着や絆を深めるため、地域活性化の取組に参画するなど、高等学校と地域が連携した取組を推進します」という記述にその思いを込めています。

区分	頁	いただいたご意見	対応・回答案
4 教育施策 (9) 地域と若者の未来を拓く高等教育機関の充実	25	専門学校について ・高等教育機関の充実は、いつも大学の取組をあげているが、専門学校についても触れるべきである。 (教育警察常任委員会)	→ 「若者の県内定着」が懸案課題となっている現在、大学、短期大学、高等専門学校の「若者を地域に惹きつける役割」が改めて注目されており、専門学校も同様の役割を担っているものと認識しています。 このため、専門学校のこうした役割を高めるための取組について、今後研究を行う必要があると考えています。
その他		私立小中学校との連携について ・私立小中学校との連携について、県としてこれまでより踏み込んだ対応は行わないのか。前向きに検討して欲しい。(戦略企画雇用経済常任委員会)	→ 私立小中学校とは、これまでも防災教育などにおいて連携を行っているところです。 今後とも、私立学校の建学の精神を尊重しながら、防災教育のように子どもたちのために有益な取組について、連携することも検討してまいります。